

2023年11月22日

小平市長 殿

氏 名 大橋 利香



(※)

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名)

※本人が自署しない場合や法人の場合は、記名押印してください。

小平市いきいき協働事業実績報告書

令和 6 年度小平市いきいき協働事業について、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

いきいき 協働事業 の 名 称	SMILE FESTA ～SDGSを学ぼう！体験しよう！～	
実施結果	実 施 日 ・ 実 施 期 間	2024年 11月 16日
	実 施 場 所	鷹の台公園予定地
	人 員 体 制 (スタッフ)	延べ実人数 8人 (算定式)
	参 加 者 数	延べ人数 2800人()
	内 容	ハンドメイド、フード、近隣の学校や団体によるステージ、近隣の団体のあそびば、クイズラリーなど。
	実 施 効 果 (成果)	来場者2600人でファミリー層だけでなく近隣の高齢者の方などにもご来場いただき大変賑やかでした。近隣の団体によるあそびばゾーンを設け、ステージでは地域のバンドやダンスクラブ、第四中学校の吹奏楽部や第三小学校PTAなどに参加していただきました。チラシやポスターなどの宣伝など鷹の台地区の方にもご協力いただき、地域の皆さまと繋がりながら一緒に作りあげたイベントになったのではないかと思います。 鷹の台公園予定地の周知にも繋がったと思います。
添付資料	印刷資料	

※ この実績報告書に記載しきれない場合は、別途提出してください。

受 付 日	年	月	日
-------	---	---	---

いきいき協働事業評価シート

団体用

○ 協働事業の概要

記入年月日 令和6年11月22日

事業名	SMILE FESTA～SDGsを学ぼう！体験しよう！～
団体名	flamme
担当課名	水と緑と公園課
事業期間	令和6年11月16日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。（計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。）

来場者は2600人で多くのご来場いただきました。ファミリー層だけでなく近隣の高齢者の方などにもご来場いただき大変賑やかでした。近隣の団体によるあそびばゾーンを設け、ステージでは地域のバンドやダンスクラブ、第四中学校の吹奏楽部や第三小学校PTAなどに参加していただきました。チラシやポスターなどの宣伝など鷹の台地区の方にもご協力いただき、地域の皆さまと一緒に作りあげたイベントになったのではないかと思います。

鷹の台公園予定地の周知にも繋がったと思います。

②団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。（市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。）

出店者の募集やイベントの構成、スタッフなどこれまでのSMILEFESTAで作りに上げてきたものを生かしたかと思います。団体のキャラクターも好評でイベントを盛り上げてくれたと思います。

③協働の姿勢が図られましたか。（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。）

担当者様からは常に今後の流れやアドバイスなどのご連絡をいただきまして、スムーズにイベント準備を進めることができました。また近隣の学校へチラシ配布などもしいただき大変助かりました。

④改善提案がありますか。

年度内実施といっても4月から準備になるため、大がかりなイベントだと秋開催になってしまう。

自由記載欄

○ 協働事業の概要

記入年月日 令和6年11月25日

事業名	SMILEFESTA～SDGsを学ぼう！体験しよう！～
団体名	flamme
担当課名	水と緑と公園課
事業期間	令和6年9月6日～令和7年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

本事業は、整備予定の鷹の台公園事業の周知・啓発及び地域の機運醸成を図ることを目的として提案を募集したものである。鷹の台公園予定地において、公園の利用者である未就学児の親子から大人まで幅広い年齢層を対象としたマルシェを提案団体がを行い、同地内にて公園事業のパネル展示を市が行ったことで、来場者に鷹の台公園整備事業を周知するとともに、公園整備後を見据えた市民による主体的な公園活用につながる契機ともなった。

②団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

提案団体は、各所でマルシェを定期的 to 実施しており、市が持たないノウハウを発揮し、子どもだけでなく、学生等も楽しめる魅力あるイベントを実施することができた。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られたか。)

事業前から打合せを行い、スケジュールや内容の確認を行った。また、市報でのイベント周知のほか、団体が作成したチラシを市から教育機関等に配布するなど、相互に本事業実施への連携を図った。

当日は、市と団体それぞれが協力しながら、イベントの運営を行った。

④改善提案がありますか。

団体と協働して、鷹の台公園整備事業の周知・啓発及び地域の機運醸成を図る事業であり、目的の共有や相互の役割を理解した上で事業を進めたため、特に問題はなかった。

自由記載欄

令和 6年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	SMILEFESTA～SDGsを学ぼう！体験しよう！～
団体名	flamme
担当課名	水と緑と公園課

①目的の共有（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

団体自己評価 :2	担当課自己評価 : 1
・整備予定である鷹の台公園事業(小平市たかの台33)の周知・啓発及び地域の機運醸成を図るという目的について、相互に共有し、それぞれの役割を認識しながら、事業を実施した。	

②自主・自立の尊重（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・団体は、自主的に事業の企画、準備、運営を行い、提案時に設定した役割分担のとおり、適切に事業を進めることができた。	

③相互理解（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

団体自己評価 :2	担当課自己評価 : 1
・団体は、市の公園整備事業に理解を示し、予定地を有効に活用してイベントを実施した。	

④対等関係（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

団体自己評価 :2	担当課自己評価 : 1
・事業の準備段階から、相互に報告・連絡・相談を行い、意見交換をすることができた。	

⑤情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・相談や確認事項等は、メール又は電話連絡により情報共有が図られた。	

⑥役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

団体自己評価 :1	担当課自己評価 : 1
・イベントの広報については、団体がチラシを作成し、市が市報、HP、及び教育機関へのチラシ配布等を担った。また、イベント当日は、パイプ椅子等の一部備品を市で貸出したほかは、必要な物品を団体で手配し、自立した運営を行った。	

⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

団体自己評価：1	担当課自己評価：1
・団体が持つノウハウと、市の広報力との協働により、多くの来場者が公園予定地に来場し、公園計画を周知する効果があった。	

⑧目標の達成（事業の目的が達成できたか）

団体自己評価：2	担当課自己評価：1
・団体のイベント実施に併せて、市が公園計画周知に関するパネル展示を行ったことで、公園整備事業を来場者に周知するとともに、事業認可図を示すことで、機運醸成にもつながったと言える。	

⑨地域の課題解決（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

団体自己評価：2	担当課自己評価：1
・現在、閉鎖管理されている鷹の台公園予定地において、地域で活動を行っている市民団体の提案による事業を実施することで、市民から親しまれる公園整備を行う第一歩になったと言える。	

⑩その他意見（提案団体から）

その場その場で適切なご意見とアドバイスをいただきスムーズに進行できました。

※自己評価項目

1	十分達成できた
2	達成できた
3	概ね達成できた
4	目標を下回った
5	達成できなかった